

あ ん ば つ の じ ん じ ゃ
安波津野神社

☑ 相馬郡新地町谷地小屋釣師 釣師浜漁港
☑ 0244-62-2112 (新地町観光協会)

歴史
(成り立ち)

安波神社と津野神社に別れていたものが、明治初期の小社寺の統廃合により合祀され、現在の安波津野神社となる。
旧新地村を含む宇多郡は、仙台藩領の最南端に属し、海岸沿いで豊富な水産物に恵まれた土地柄だった。江戸時代中期に編まれた『封内風土記』にはこの海岸でとれる白身の美しいカレイが名産と紹介されており、現代でも当地では伝統家庭料理としてカレイの煮付けが親しまれている。5年に1度の11月3日には、勇壮な安波祭りが開催される。漁師の若者たちが担ぐ神輿が渡御して潮垢離をとり、地域安全・海上安全・大漁祈願を祈祷する。その昔、魚の網にかかった黄金色に輝く流木をご神体として祀ったという言い伝えも残る。安波さまは魚の神様として漁師から尊崇されており、神社の祭日は船出しないという決まりがある。

震災に
まつわる物語

新地町の釣師浜漁港にあった安波津野神社は津波によって流失してしまった。
同年11月3日が、ちょうど5年に一度の例大祭の予定であった。神輿なども流され、周囲は瓦礫だらけの状態だったので例大祭(安波祭り)の開催は見送られた。しかし、地元漁師の方々は自宅の再建よりも神社が早く再建されることを望んだ。そして、伝統行事の失われていく時代に逆行するかのように安波祭りは復活を果たした。平成28年(2016)、沿岸部のかさ上げや堤防工事のため神社を移し、釣師浜漁港の一角に新たな社殿を建立。また、地元漁師の奮起に支援が寄せられ、神輿も新調できた。同年11月3日、10年ぶりとなる例大祭が執り行われた。毎年、段階的ながら試験操業で水揚げできる魚種も増えている。安波津野神社の見守る港に1日も早く以前と同じような活気が戻る日が待たれる。



かつての海のにぎわいを願って建つ安波津野神社

TOPICS

見る① しんちまちやくば かいてんぼう 新地町役場 4階展望ロビー

新地町役場の4階に、沿岸を見渡せる展望ロビーがある。平日は自由に入りができ、土・日・祝日も職員に申し出れば入室が可能。4階に上がると、震災の前の沿岸部の模型や、震災と復興の記録のパ

ネルが展示されている。窓外には町の4分の1ほどが見渡せる景色が広がり、日に日に復興が進む駅前の様子や、沿岸の防災緑地公園などの工事状況もじっくり眺めることができる。



☎ 相馬郡新地町谷地小屋樋掛田 30
☎ 0244-62-2112 (新地町観光協会)
🅐 50台 🕒 8:30 ~ 17:15

見る② じょうばんせん しんちえき JR常磐線 新地駅

2016年12月、5年9カ月ぶりに再開通したJRの駅。震災の地震発生時、電車が駅に停車しており、偶然乗り合わせた新任警官2名が誘導して、乗客全員を無事に避難させた。その後まもなく津波が押し寄せ、跨線橋を残して駅は跡形もなく流され、電車は「くの字」に曲がった。その様子は当時、ニュース映像として全国に大きく報道された。新駅の跨線橋からは、沿岸部の工事の進み具合や鹿狼山を眺められる。



☎ 相馬郡新地町谷地小屋舩形
☎ 0244-62-2112 (新地町役場 企画振興課) 🅐 100台

食べる③ とんかつさくら家

元・仙台のホテルシェフがつくる、サクサクの揚げ上がりが自慢のとんかつ屋さん。震災による津波で1m近く浸水したが、無事に建物は残り、復旧後に再オープンした。おすすめは、ロースカツ定食や、エビフライ・ササミ・ヒレの3種が乗ったボリュームたっぷりのミックスフライ。注文からの提供時間もスピーディでサクッといただける。



☎ 相馬郡新地町谷地小屋樋掛田 47-3 ☎ 0244-62-2835
🅐 10台 🕒 11:00 ~ 14:00 17:30 ~ 19:00 🕒 不定休

見る④ じぞう あんこ地蔵

元禄元年にこの地に移り住んだ家山和尚(かざんおしょう)が建立したといわれる。大変慕われた和尚さんで、現在でもお盆の最後の日曜に、和尚の好物だったあんこを地蔵の口元に塗って供養する「あんこ地蔵供養祭・盆踊り」が行われている。



☎ 相馬郡新地町小川二羽渡 46
二羽渡農村公園内
☎ 0244-62-2112 (新地町観光協会)
🅐 10台

食べる⑤ けいしよく きつさ 軽食・喫茶 アジュール

静謐な空間でゆったりと過ごせる軽喫茶店。お持ち帰り用の手作りのおはぎが人気だ。震災による建物の損壊で休業を余儀なくされたが、「地域の方々に癒しの場を提供したい」と今の店舗を新築し、営業を再開した。2階には店主のご息が講師を務める塾があり、親子で町の復興のために力を尽くしている。



☎ 相馬郡新地町谷地小屋樋掛田 58-1 ☎ 0244-62-2511
🅐 3台 🕒 8:30 ~ 17:00 🕒 不定休

見る⑥ ふっこう 復興フラッグ

震災直後、新地町で活動した自衛隊が、瓦礫の中から見つけた日の丸に応援の寄せ書きをして釣師地区の一角に掲げたのが始まり。力強いメッセージとともにたなびく日の丸は、住民を勇気づけ、復興へのシンボルとなった。風雨にさらされて傷んだ旗は、その後、地元有志の手によって新たな復興フラッグに引き継がれている。



☎ 相馬郡新地町谷地小屋樋掛田 30 新地町役場 駐車場
☎ 050-3632-3177 (リバイバルF) 🅐 50台

DATA BANK

料金・施設などのデータは、2017年3月現在のものです。

泊まる

	名称	ひとことコメント	インフォメーション	
7	ビジネスホテル そうまろくまんごく 相馬六万石	国道6号線沿い、コンビニ隣接の便利な立地	往 相馬郡新地町駒ヶ嶺新町 92 ☎ 0244-62-2090 P 30 台 ¥ 1泊2食 大人1名 6,480円〜 / 素泊まり 大人1名 4,320円〜	

見る

	名称	ひとことコメント	インフォメーション	
8	じょうばんせん ふみきり JR 常磐線 踏切	震災時、踏切の故障により渋滞が発生し避難が遅れた。北側に高架線路として復旧している	往 相馬郡新地町小川原添 ☎ 0244-62-2112 (新地町観光協会) P なし	
9	つるしはまかいすいよくじょう 釣師浜海水浴場	原発事故の影響により、未だ再開の見通しは立たず。浜の南端には仮の慰霊塔がある	往 相馬郡新地町谷地小屋釣師 ☎ 0244-62-2112 (新地町観光協会) P 50 台 (港を利用)	
10	こまがみねじょう 駒ヶ嶺城 がぎゅうじょう あと (臥牛城) 跡	新地城とほぼ同時期に建てられた相馬氏の城跡	往 相馬郡新地町駒ヶ嶺字館 ☎ 0244-62-4477 (新地町役場 教育総務課) P なし	

遊ぶ

	名称	ひとことコメント	インフォメーション	
11	そうまちいきかいほう 相馬地域開発 きねんりよくち 記念緑地	水生植物園や遊歩道、バーベキュー広場・子供の広場がある	往 相馬郡新地町駒ヶ嶺西久保 2-6 ☎ 0244-62-2113 (新地町役場 都市計画課) P 30 台 園 9:00 ~ 16:00 園は年中無休、BBQ 広場の利用は不定休 (要問合わせ)	

食べる

	名称	ひとことコメント	インフォメーション	
12	すしぎょかいりょうり 寿司魚貝料理 とまつ 小松	昭和59年創業。鮮度抜群のネタをリーズナブルに楽しめる	往 相馬郡新地町谷地小屋萩崎 120 ☎ 0244-62-3597 P 20 台 園 17:00 ~ 21:00 休 不定休	
13	やきとり 轟久	創業以来継ぎ足してきた秘伝のたれと、炭火焼きが香ばしい	往 相馬郡新地町谷地小屋字萩崎 120-121 ☎ 0244-62-4646 P 10 台 園 17:00 ~ 22:00 休 月曜・木曜	
14	しゅんさいこうぼう 旬菜工房 まるふじ	旬の食材を活かした多彩な料理。50名までの宴会可	往 相馬郡新地町谷地小屋字萩崎 5 ☎ 0244-62-2335 P 5 台 園 17:00 ~ 22:00 休 日曜	

しんちっ子
ご推せん

ウォーキング
コース

海に近い巡礼地をスタート。復興の進む港や沿岸周辺を巡り、新地町の中心地へと進んでいく。優しい雰囲気のお茶店で一息ついたら、復興フラッグのはためく役場へ。展望ロビーには、今歩いてきた場所の被災当時の写真があり、どれだけ変わったのかを確認できる。

コース A

安波津野神社 (巡礼地) — 50m・1分 — 釣師浜海水浴場 — 300m・5分 — 大戸浜観音堂 (巡礼地) — 1km・15分 — JR 常磐線 踏切 — 2km・30分 — JR 常磐線 新地駅 — 700m・10分 — 軽食・喫茶 アジュール — 50m・1分 — 新地町役場 4 階展望ロビー・復興フラッグ — 200m・5分 — 旬菜工房 まるふじ